

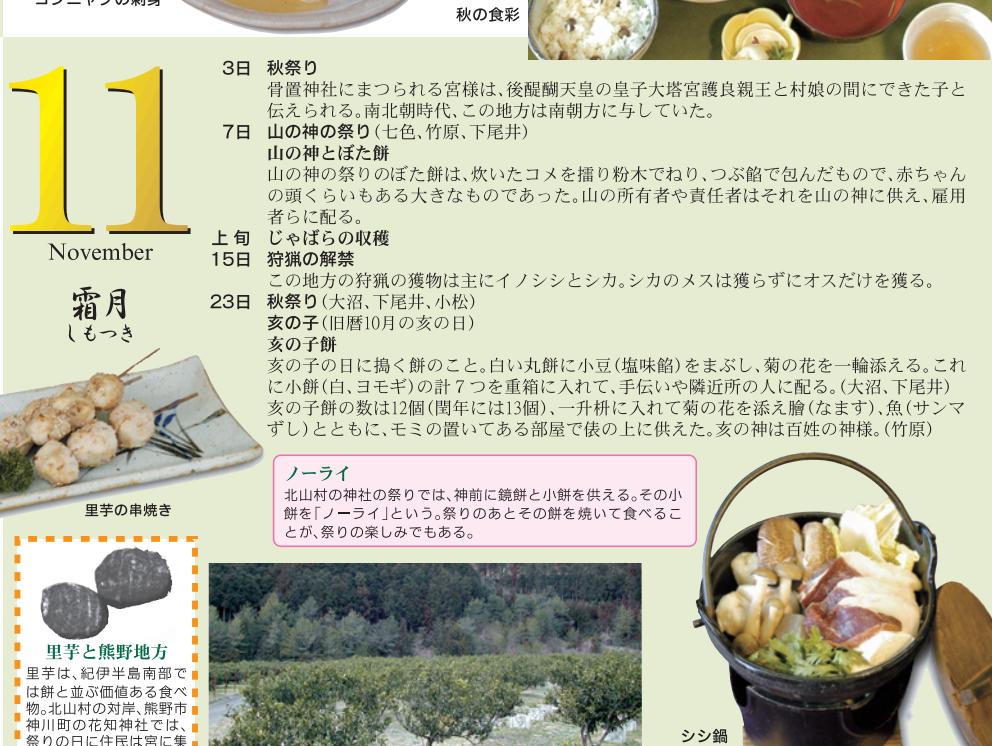
# 奥熊野の村の暮らし365日

## ～北山村の食ごよみ～

山里・農業の一年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
種蒔き											
植付け											
収穫											
山菜 果実											



日本人は、この半世紀あまりの間に伝統的な暮らしを捨て、あるいは知識や技術を忘れてきた。生活様式の変化は、北山村でも例外ではない。しかしながら、この村にはまだ、年中行事や祭り、日々の暮らしの食卓を彩る、素朴だが豊かな山里の知恵や技術が生きている。



北山村は、紀伊半島の深い山の中にあります。ぐるりと山に囲まれた村で、北山村沿いに建つ、人びとは川原から石を運び上げては積んで家を建て、田畠を開いてきました。北山村は、石垣が美しい村である。

山峡の村の春は、山菜や草の芽吹きであります。秋の森はコノコや木の実の宝庫であり、北山村の支流の渓谷はアメノウオやアユなど魚をもたらす。そして、晩秋に熊野灘から村へと運ばれるサンマが「すしの食文化」を育む。